

日本共産党

付減が押しつけられており、高齢者の暮らしは大変である。昨年になが党が行った

市民アンケートでは、有効回答数の中で、介護保険料等の軽減を求める回答が五十七・二%を占め、負担軽減は切実な要求であること

がわかる結果であった。介護保険料は、改定毎に値上がりし、第一期の標準額は月額三千三百三十八円であったのが、第七期の案では

六千五百九十四円と約二倍にもなっている。行政としてどのような負担軽減をはかるうとしているのか。

って介護保険料が負担になっっていることは認識している。第七期介護保険事業計画では現在十四段階の所得段階を負担能力に応じきめ

細やかな十八段階にし、低所得者への配慮を行う。それでも負担が困難な方には減免の制度が必要だと考え、拡充を検討している。

自民党クラブ

代表質問 浅川 健造

住んでよし、訪れてよし、稼いでよしのまちづくりを！

本市の財政運営について

千九百九十一億円という見込みとなっている。将来返済する公債費が歳出のほとんどを占めてしまい、新たに必要となる事業などが実施できなくなるのではない

しなどにより財源の確保に努め、その一部を小学校の空調整備財源として新たに三億三千万円確保したほか、収支不足を補う財政調整基金の繰入金については、前年度より約一億九千万円圧縮するなど、健全かつ安定的な財政運営の堅持に努めたものである。

やガイドの人材育成、モノづくり、文化、下町の魅力を生かした体験型観光プログラムの開発を行うと述べられたが、平成三十年度の取り組みとは具体的にどういったものなのかを伺う。

経営企画部長 個人旅行者の増大に伴い、モノづくり観光においても団体受け入れから少人数向けの体験プログラムとの組み合わせをすすめることも、市内外に向けて、東大阪が観光で楽しめる町だという媒体を製作して、プロモーションを行っていく。

子どもすこやか部長 さまざまな要因があると思うが、子育て支援施策もその大きな一因であると認識している。今後は、効率的、効果的な情報発信によりアピールし、子供を産み育てたいと思ってもらえるよう、さらに充実した施策展開を図ってまいります。

問 平成三十年当初予算を見ると、一般会計予算総額については、前年度と比較して約六十二億円の増額、市債発行額については約四十一億円の増額、借換債や臨時財政対策債を除いても三十五億円の増額になっている。また、市債残高は年々増え続け、三十年末には

千九百九十一億円という見込みとなっている。将来返済する公債費が歳出のほとんどを占めてしまい、新たに必要となる事業などが実施できなくなるのではないかと。このようなことで健全財政かつ安定的な財政運営を推進する予算編成を行ったと言えるのか。当局の考えを問う。

推進事業について
市長の市政運営方針において、東大阪ツーリズム振興機構が中心に、市民、業者を対象に、観光客をおもてなしするため、観光案内



観光マネジメントの視点を持ったまちづくりを！

への宿泊施設が数少なく、稼働率も限界に来ており、新しい大型宿泊施設を誘致するのが困難な状況となっている。しかし、住宅宿泊事業法（民泊新法）が平成三十年六月から施行され、これまでよりも民泊に取り組みやすくなった。同法のもと、民泊で商店街の空き店舗を活用することは、商店街の活性化にも資するものと考え、当局の見解

を問う。
経営企画部長 飲食・商店等が集まる商店街を丸ごと宿泊施設として考えるような展開など、そのまちに合った創意工夫をこらし、人を呼び込む新たな観光資源として活用できると考える。しかし、従来の商店街の事業者との連携が必要であるため、事業者と商店街が相互理解を持ち事業展開が図られるよう努める。

東大阪創生会

代表質問 中西 進泰

**モノづくりミュージアムを創設せよ！
商店街で民泊の活用を！**

モノづくりミュージアムについて

の人たちが修学旅行や企業研修として東大阪を訪れており、さらに最近では生産現場を外国人旅行者や留学生に見てもらおう取り組みが活発化している。モノづくりのまち東大阪ならではの取り組みであるが、さらに

モノづくり観光の取り組みとして、東大阪のモノづくりの技術力の高さを紹介し、またモノづくり体験ができると同時に映像や展示物で地域経済の歴史を発信し拠点とするモノづくりミュージアムを構想してはと考えるが、当局の見解を問う。

略において、多くの体験プログラムを作成することで、可能となると考える。将来的には、本市のモノづくりの歴史や技術を学び、体験できる観光の拠点が必要との声があがるような機運の醸成につながるよう、モノづくり観光戦略を押し進め

問 東大阪を訪れる観光客

について

問 平成二十九年六月に策定した東大阪市観光振興計画では、モノづくりのまちをを活かした体験型観光の推進を重点施策の一つにあげている。年間五〜六千人も

経営企画部長 現在東大阪ツーリズム振興機構が展開しているモノづくり観光戦

問 東大阪を訪れる観光客

について

問 東大阪を訪れる観光客

について